

## 皆さんの声 Interview

ホー ゴック ヒエンさん (下石町)  
HO NGOC HIEN

2016年の9月に技能実習生として来日しました。日本語教室に来るのは今日が4回目です。日本語は漢字が特に難しいです。でも3年間日本にいる予定なので、その間も教室に通ってもっと上達したいです。  
日本の料理ではお寿司、特に<sup>まぐろ</sup>鮪が大好きです。

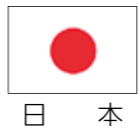


チェン ジンジンさん (瑞浪市)  
陳 金金



2014年の6月に技能実習生として来日しました。もともと日本のアニメなどが好きで興味がありました。日本語教室を知ったのは2015年の秋頃。言葉だけでなく、ゴミ出しのルールのことや、防災のことも教えてもらったのがうれしかったです。  
日本は自然がすごく豊かでもっと好きになりました。

肥田 健人さん (駄知町)  
(日本語教室ボランティア)



国際交流協会の存在を知ってから約2年間、ほぼ毎週日本語教室のボランティアに通いました。外国の方から頼りにされることがうれしく、社会に少しは貢献できたのかなと感じます。日本語教室では「先生と生徒」というよりは「友達同士」という関係性で、雰囲気はとても良いです。このような活動を通じて、多くの方に国際交流の楽しさを知ってもらえればと思います。

**ボランティア募集中**  
日本語教室でのボランティア講師は、現在数人程度。受講者に対して十分な講師が確保できていない状況です。  
やさしい日本語が話せれば、専門資格や外国語が話せる必要も一切ありません。外国に興味があったり、人と交流することが好きな方を大歓迎します。イベントの企画などをすることもできます。興味のある方は、まづづくり推進課または国際交流協会 籠橋さんまで。

## 日本語教室 Japanese class



**期日** 原則毎週土曜日  
**時間** 午後7時から9時  
**場所** 文化プラザまたはセラトピア土岐

**参加実績(国籍別)**

スリランカ、ブラジル、フィリピン、インドネシア、ベトナム、中国、アメリカ、イタリア、フランス、インド、ボリビア、ペルー、パキスタン、イギリス、オーストラリア など  
※青字…現在学習者あり

**開催スケジュール(3・4月)**

3月… 4・11・18・25日  
4月… 1・8・15・22・29日

※3月18日・25日のみセラトピア土岐で開催。その他は、文化プラザで開催します。  
※今後の日程は、市ホームページをご確認ください。

## 活動紹介 Introduction to activities



- 1ハラールフードセミナー(2016年5月)**  
地域在住の外国人と地元の日本人とが食の文化交流を通して、イスラム教徒やハラールについて正しい知識や相互の理解を深めました。
- 2レッツダーカウ(2016年8月)**  
「岐阜・ベトナム友好協会」の設立を記念し、ベトナムの国民的スポーツ「ダーカウ」に挑戦しました。ダーカウとはベトナム語で、「ダー(蹴る)カウ(羽根)」という意味です。
- 3外国人向け防災講座(2017年1月)**  
県や市と連携して、外国人向けの防災講座を開催しました。洪水ハザードマップを見ながら近くの避難所の場所や浸水想定区域などを確認したり、災害時における行動や日常における備えなどを学んだりしました。
- 4ブラジルの日本語教育現場を見てみよう(2017年2月)**  
日本語を学習したい外国人にどのように接しどのように教えるべきなのか、(公社)青年海外協力協会から講師を招いて講演会を開催しました。日系日本語学校での教師経験などから、日本語教育における意思疎通のコツを学びました。
- 5土岐エクスカージョン(陶芸体験)(2016年7月)**  
岐阜大学のサマースクールに参加している短期留学生らが、道の駅「どんぶり会館」で陶芸体験をしました。
- 6日韓高校生交流会(2016年8月)**  
韓日産業技術協力財団が主催する日本での研修事業の一環として、土岐紅陵高校で日韓の高校生同士の交流会を開催しました。オリンピックに関連するクイズに協力して挑戦するなどして、親交を深めました。

国際交流協会では、県や市、学校などと連携しながらさまざまな活動に取り組んでいます。  
活動内容は、外国人向けに日本の文化を紹介するものや、海外の文化をさまざまな国の方たちが集まって体験し、相互理解を深めるものなど、非常に国際色豊かです。  
また、単に文化面での交流にとどまらず、外国人が日本の社会の仕組みに順応し、かつ自分らしく生きられるよう、日々の生活をサポートしたり、防災の大切さを伝えるなどの取り組みが行われています。